

市長発言要旨

【報告事項】

よねざわ環境フェス 2025 開催のお知らせ

9月27日に、よねざわ環境フェス 2025 を伝国の杜エントランスホールなどで開催いたします。今回は、「なせばなる秋まつり」と併催し、連携した取組を予定しています。事業目的としては、一つ目として、米沢市プラスチックごみゼロ宣言の趣旨について改めて周知するとともに、海洋ごみに関する情報を提供し、行動を起こすきっかけとすること。二つ目として、環境問題に関する様々な視点・要素を提案し、市民生活に身近で幅広い内容を、見て、聞いて、体験し、楽しみながら、CO₂の排出量を減らし環境に良い活動「デコ活」につなげるきっかけとすること。三つ目として環境団体との協力型イベントを行うことで相互に活動を理解し、連携を深めるプラットフォーム機能を目指すことであります。イベントの主な内容としては、

- ①スポ GOMI（スポーツごみ拾い）大会の開催
- ②環境クイズ大会の開催
- ③子ども服おさがり交換会
- ④5つのゾーンを設定し、テーマに沿ったワークショップ・展示を行う。
- ⑤スタンプラリー及び抽選会の実施
- ⑥秋まつりと連携してエコステーション（ごみ分別場所）の設置

以上の6点であります。米沢市の未来を持続可能で豊かなものとするためには、一人ひとりの行動が重要です。このフェスが、市民の皆様が次のステップへ進むきっかけになることを願っています。ぜひ多くの市民の皆さまに御参加いただきたいと思います。

また、脱炭素先行地域に選定されたことを受けて、11月30日に脱炭素に関するフォーラムを開催する予定です。詳しい時間など決まりましたら、改めて御報告をいたします。

【回答事項】

ふるさと納税の現状と今年度の見通しについて。また、納税額が市政運営に与える影響について。

本市のふるさと納税の現状について、9月15日時点での本市の累計寄附額は、約6億7千万円（前年同期比169%）、寄附件数は約4万2千件（前年同期比143%）と共に増加しており、現時点では順調に推移している状況です。

全国的な動向としましては、物価高騰の影響を受け、節約志向が強まる中で、米や飲料など生活必需品を返礼品として求める傾向が強まっています。

本市の寄附額の約7割を占める返礼品「米・米沢牛・パソコン」を8月末時点の寄附額ベースで見ますと、米は前年同期比185%と大きく伸びている一方で、高級品である米沢牛精肉は前年同期比125%であり、伸びてはいるものの、米と比べるとそれほど大きな伸びではありません。また、パソコンは、Windows10のサポート終了が来月10月に迫っていることもあり、前年同期比180%と伸びております。

ご質問にもありましたとおり、国の制度改正により、ふるさと納税の適正な運用を確保する観点から、来月（10月）から寄附者に対しポイントを付与するポータルサイトを通じた寄附募集が禁止されます。このポイント付与廃止を受け、ここ数か月は例年以上に寄付が集まっています。

今後の見通しとしましては、9月の駆け込み需要の反動が予想されるものの、例年10月以降から年末にかけては寄附が集中する傾向にあることから、引き続き返礼品の充実や情報発信、プロモーションを積極的に展開していきたいと考えております。年度末の具体的な見込額については現段階でお示しできませんが、引き続き丁寧な運営に努めていきたいと考えております。

また、市政運営に与える影響についてですが、ふるさと応援寄附金については、令和7年度当初予算に20億円を計上しております。本市に納入いただいたふるさと応援寄附金については、返礼品に係る経費などを差し引いて、残りの50%強をふるさと応援基金に積み立て、翌年度以降に取り崩して様々な事業に活用させていただいております。令和7年度は、ふるさと応援基金からの取崩額として12億円を計上しており、本市の財政運営において大変重要な財源となっているところです。

したがって、今年度のふるさと応援寄附金が目標とする20億円に達しなかった場合には、当年度の財政運営に直接影響を及ぼすものではないものの、基金に積立てできる額が減少するため、次年度以降に取り崩せる額が減少することになりますので、今後の運営に少なからず影響を与えるものと認識しております。